

公開シンポジウムのご案内
異年齢保育と共同養育の可能性を探る
～ 年の差も、親と保育者の垣根も越えて ～

2026年10月4日（日） 10:00 – 15:00

尚絅学院大学5A講義室（名取市ゆりが丘4-10-1）

参加費無料・お申し込み不要（部分参加も歓迎します）

駐車無料（学内駐車場へ自由に駐めてください）

● Program

10:00 開会（9:30 受付）

10:05 基調講演：こどもはこどもと大人の群れの中で育った人類史

岩倉 政城（尚絅学院大学名誉教授 元同附属幼稚園長）

10:40 話題提供 1 異年齢保育の実際と課題

高橋美千代（北海道・北広島かおり幼稚園）

小柳由美子（三重県・こっこ保育園）

11:50 昼食休憩

13:00 話題提供 2 異年齢保育の実際と課題

赤坂 典子・稲垣 裕美（仙台・聖クリストファ幼稚園）

近藤英理子・日吉みゆき（仙台・聖ルカ幼稚園）

14:10 ディスカッション

* 近くにレストラン等ありませんので、昼食をご持参ください（裏面に詳細）

尚絅学院大学放射線被ばく下の幼児教育研究センター(SIREC)では、2013年以来、東日本大震災によって津波や放射能汚染を受けた保育園・幼稚園への訪問激励と、子どもの心身と保育へもたらされた影響に関する調査に取り組んでまいりました。

中でも放射能汚染下で外遊びを制限され、避難や、避難児の受け入れを体験し、園児たちは降りかかった幾多の困難に直面しました。しかし、迎え入れた仲間と共にしなやかに育っていきました。その姿に私たち保育者は改めて子どもたちが違いを超えて仲間を作り、課題を乗り越える姿を学び直しました。

この体験は私たち保育者に、改めて子どもを真ん中にする保育、断ち切られた自然との関係をこどもに取り返す大人の役割、降りかかった保育現場の困難に手を差し伸べてくれた地域や保護者の皆さんと共に保育を作ることの大切さを教えてくれました。

このような保育観の延長上に、異年齢構成の保育及び保護者参画の保育が、より豊かな保育を形成する可能性のあることを再確認・再認識し、現在は異年齢保育や父母だけでなく多様な大人が参画する共同養育に視野を広げて研究に取り組んでおります。

この度、以下のような公開シンポジウムを計画しましたので、保育・教育関係者の皆さんと共に異年齢保育（縦割り保育）と共同養育について話し合いたいと思います。そして私たちの研究にもご助言をいただければ幸いです。

公開シンポジウム

異年齢保育と共同養育の可能性を探る

～ 年の差も、親と保育者の垣根をも越えて ～

● 基調講演「こどもはこどもと大人の群れの中で育った人類史」

岩倉 政城（尚絅学院大学名誉教授 元同附属幼稚園長）

話題提供：

小柳由美子（社会福祉法人ひよこ会こっこ保育園園長、三重県四日市市）

高橋美千代（学校法人恵愛学園北広島かおり幼稚園理事長、北海道北広島市）

赤坂 典子（学校法人聖公会青葉学園聖クリストファ幼稚園園長、仙台市）

稲垣 裕美（同上教頭）

近藤英理子（学校法人聖ルカ学園聖ルカ幼稚園園長、仙台市）

日吉みゆき（同上教諭）

司会進行：東義也（SIREC事務局）

主 催：尚絅学院大学放射線被ばく下の幼児教育研究センター

後 援：尚絅学院大学

問合せ：尚絅学院大学東義也（higashi@shokei.ac.jp）

SIRECは、The Shokei Gakuin University Center for the Study of the Impact of Radiological Contamination on Early Childhood Educationの略です。本シンポジウムは、JSPS科研費24K05861（研究課題名：人類史上普遍であった大人集団と異年齢幼児集団による共同養育を導入した保育の実証）の成果公開発表の一環として開催されます。